

ALSI セキュリティUSBメモリ作成ソフトの上位モデル 「InterSafe SecureDevice Professional」を発売開始

～ 接続先 PC のウイルス対策確認や、期限切れ USB メモリ内データの自動破棄を実現 ～

アルプス システム インテグレーション株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長:麻地 徳男、以下 ALSI[アルシー])は、ネットワーク環境で利用することができるセキュリティ USB メモリ作成ソフト「InterSafe SecureDevice Professional (インターセーフ セキュアデバイス プロフェッショナル)」の発売を、2010年3月26日より開始することを発表いたします。

■ 製品概要

製品名	セキュリティUSBメモリ作成ソフト「InterSafe SecureDevice Professional」		
発売開始日	2010年3月26日		
ターゲット	大規模企業(特に建設業、製造業、マスコミ)、医療機関、学校、官公庁、自治体 など		
販売価格	【一般】	サーバライセンス	147,000 円～
		セキュリティ USB メモリライセンス	7,560 円～
	【アカデミック】	サーバライセンス	102,900 円～
		セキュリティ USB メモリライセンス	5,250 円～ (価格はすべて税込み)

■ 製品の特長

昨今、USBメモリの紛失や盗難による個人情報などの情報漏洩事故や、不用意に外部のパソコンに接続することによるウイルス感染、Autorun ウイルスによる感染拡大、ファイル交換ソフトを経由した不特定多数への情報流出など、USBメモリを利用することによるリスクが拡大しております。しかし、このようなリスクを回避するために、規定やルールの制定、外部デバイス制御製品等によりUSBメモリの利用を禁止しても、運用の徹底を図ることは難しく、さらには本来の利便性を欠いてしまうため、十分な対策であるとはいえません。

ALSIの「InterSafe SecureDevice」は、USBメモリを使用したデータの持ち出しを安全に行うために、情報漏洩やウイルス感染を防止することができるソフトウェア製品として、2009年8月より発売を開始いたしました。汎用USBメモリの暗号化や、PCへのアクセス権限を設定・変更することを、業界で初めて実現いたしました。新たにUSBメモリを購入する必要がないため、導入コストの削減や、既存USBメモリの破棄を抑止することができるため、エコにも配慮した製品となっており、発売以来、企業や学校、医療機関、自治体など、現在までに200社以上への導入が進んでいます。



この度、発売を開始する「InterSafe SecureDevice Professional」は、「InterSafe SecureDevice」の上位モデルで、ネットワークに対応することにより、さらに強固なセキュリティ対策を行うことができる新機能を追加いたしました。USBメモリを接続した際にウイルスの感染を防ぐため、接続するPCのウイルス対策状況を確認することができるほか、複数のセキュリティUSBメモリの作成およびUSBメモリ内のログを自動送信することが可能となります。また、USBメモリに有効期限を設定し、有効期限を過ぎたUSBメモリ内のデータを自動的に破棄することができるため、万が一紛失したり、盗難に遭った場合においても、情報が外部に漏洩する心配がありません。

また、1本のセキュリティUSBメモリを特定のPCに限定せず複数のホストPCで利用することができるほか、PCやUSBメモリにデータのコピーをすることに対して、禁止/許可、貼り付け先の指定などを設定することができるようになります。これらの新機能、拡張機能により、従業員の多い大規模企業においても、管理者の負担を軽減することができ、より効率的にセキュリティ対策を強化することができるようになります。

■ 新機能

① ウィルス対策ソフト導入チェック

USB メモリを接続した際の感染を防ぐために、接続する PC のウイルス対策状況をチェックします。ウイルス対策ソフトがインストールされているかを確認し、対策に漏れがある場合について“使用禁止”または“警告して使用”のいずれかを設定することができます。

② ログの自動送信

セキュリティ USB メモリをホスト PC 接続時、USB メモリ内のログを SD サーバに自動送信し、管理者の負担を軽減します。オフライン時のログについては、USB メモリ内に格納し、オンライン(送信可能)状態になった際に送信します。

③ 有効期限超過時のデータ破棄

セキュリティ USB メモリの有効期限が超過した後は、USB メモリ内のデータを破棄します。データの復旧等を行うこともできないため、より強固な情報漏洩対策を実現します。

■ 拡張機能

① 複数ホスト PC 対応

1 本のセキュリティ USB メモリを複数のホスト PC で利用することができます。特定の PC に限定しない運用が可能です。SD サーバに接続可能な環境下でないとホスト PC*登録はできないため、管理外 PC のホスト PC 化*を防げます。

② クリップボード制御

データの貼り付け先(PC/USB メモリ)に応じて、許可または禁止の設定をすることが可能です。USB メモリ内のファイルに対してのみ貼り付けが可能、という設定もできるため、より柔軟な運用が可能となります。

■ 動作環境

<SD サーバ>

OS (32bit 版)	日本語版 Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition 日本語版 Microsoft Windows Server 2008 Standard Edition
CPU	Intel Pentium4 2.0GHz 以上
メモリ	2GB 以上 (3GB 以上推奨)
その他必要条件	ネットワーク接続可能なこと。インターネットに接続可能なこと。

<管理コンソール>

OS (32bit 版)	日本語版 Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition 日本語版 Microsoft Windows Server 2008 Standard Edition 日本語版 Microsoft Windows XP Professional SP2 以降 日本語版 Microsoft Windows Vista SP1 以降 日本語版 Microsoft Windows 7
CPU	Intel Pentium4 2.0GHz 以上
メモリ	512 MB 以上 (Vista/7 は 1.0GB 以上)
その他必要条件	ネットワーク接続可能なこと。

<ホスト PC/ゲスト PC>

OS (32bit 版)	日本語版 Microsoft Windows XP SP2 以降 日本語版 Microsoft Windows Vista SP1 以降 日本語版 Microsoft Windows 7	※最新のサービスパック適用を推奨
CPU	Intel Pentium4 2.0GHz 以上	
メモリ	512 MB 以上 (Vista/7 は 1.0GB 以上)	
その他必要条件	ネットワーク接続可能なこと。(ホスト PC 登録時のみ)	

<動作検証済みアプリケーション>

- ・Adobe Systems : Adobe Reader 8, 9
- ・JustSystems : 一太郎 2008, 2009
- ・Microsoft : Word / Excel / PowerPoint 2003, 2007
- ・サイト一企画 : 秀丸 7
- ・その他 : メモ帳、MS-Paint

※上記アプリケーションは、全ての動作を保証するものではありません。

※掲載されている会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。

※「ホスト PC」とは、「InterSafe SecureDevice」でセキュリティ化された USB メモリとのデータ移動を自由にできる PC を意味しています。

【このリリースに関するお問い合わせ・取材受付先】

アルプス システム インテグレーション株式会社 URL: <http://www.alsi.co.jp/>
〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町 1-7 TEL: (03)5499-8043 FAX: (03)3726-7050
広報担当: 桑野 宏子 (kuwano@alsi.co.jp)